

別紙1

会 議 記 録 (1)

会議名称	北本市幼児問題審議会（第1回）
開会及び閉会日時	平成23年8月25日（木） 午後2時00～午後4時00分
開催場所	文化センター 第2研修室
議長氏名	鈴木 眞理子
出席委員(者)氏名	諏訪 千加子・鈴木 眞理子・阪井 栄見子・佐藤 正史 関野 重信・木村 嶺子・荒樋 美智子・鈴木 恵里子 由井 真奈美・柳沢 さつき
欠席委員(者)氏名	有田 めぐみ
説明者の職氏名	こども課長 加藤 啓一
事務局職員職氏名	保健福祉部長 谷澤 暢・こども課長 加藤 啓一 こども課保育担当主幹 鎌田 謙・こども課保育担当 森 美子
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委嘱状交付 3. あいさつ 4. 自己紹介 5. 会長・副会長選出 6. 諮問 7. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 北本市の保育行政について (2) その他 8. 閉会
配布資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 北本市保育所建築状況 2. 平成23年度保育所入所状況一覧 3. 平成26年度入所児童推計 4. 子ども・子育て新システムに関する中間とりまとめについて 5. 平成23年度保育所入所案内 6. 子育て応援ガイド 7. 北本市次世代育成支援行動計画【後期計画】

会 議 記 録 (2)

発言者	発 言 内 容
事務局	<p>1 〔 開 会 〕</p> <p>2 〔 委嘱状交付 〕</p> <p>3 〔 あいさつ 〕</p> <p>4 〔 自己紹介 〕</p>
仮議長 (谷澤福祉部長)	<p>それでは、北本市幼児問題審議会規則第4条1項の規定により会長及び副会長の選出をさせていただきたいと思えます。どなたか立候補あるいはご推薦いただける方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>〔立候補・推薦なし〕</p>
関野委員	<p>立候補等される方がいないようですので、事務局に一任させていただくということでいかがでしょうか。</p>
仮議長 (谷澤福祉部長)	<p>それでは、事務局より案があれば提示してください。</p>
事務局	<p>事務局では、第3者的立場であり学識経験もお持ちの埼玉県立大学の鈴木真理子委員にお願いしたいと考えております。</p>
仮議長 (谷澤福祉部長)	<p>事務局から会長に埼玉県立大学の鈴木委員という案が示されましたが、委員の皆様いかがでしょうか。</p> <p>〔異議なしの声あり〕</p>
仮議長 (谷澤福祉部長)	<p>異議なしとの声がありましたので、会長を鈴木委員にお願いしたいと思いますので、ご承認を拍手でお願いいたします。</p> <p>〔委員の拍手〕</p>
仮議長 (谷澤福祉部長)	<p>続きまして副会長の選出ですが、副会長は会長からどなたかご指名いただければと思います。</p>

鈴木会長	<p>それでは、副会長を北本の福祉に詳しい諏訪委員にお願いしたいと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。</p>
<p>仮議長 (谷澤福祉部長)</p>	<p>ただいま会長より副会長に民生委員の諏訪委員を指名していただきましたが、よろしければご承認を拍手でお願いいたします。</p>
<p>[委員の拍手]</p>	
<p>仮議長 (谷澤福祉部長)</p>	<p>ご承認いただきましたので、副会長を諏訪委員にお願いいたします。</p>
<p>仮議長 (谷澤福祉部長)</p>	<p>続きまして、諮問に移りたいと思います。諮問書を、市長より預かっておりますので、会長へお渡しいたします。</p>
鈴木会長	<p>諮問につきまして、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>二つの諮問につきまして趣旨説明をさせていただきます。</p> <p>まず諮問の1ですが、現在市内には4ヶ所の公立保育所があります。お子さんの保育環境の向上を目指して、老朽化した中央保育所の建替えを予定しております。この中央保育所の整備につきましても今後、議論をしていただきすすめていきたいと考えています。</p> <p>続いて諮問の2についてですが、先月、国におきまして新たな保育行政として子ども・子育て新システムの間とりまとめがありました。公立保育所全般のあり方、方向性につきまして国の動向を踏まえながら議論していただきたいと考えています。</p> <p>一つ目の公立保育所整備についての一次答申につきましては、今後ある程度の期間を決め早期に答申いただければ幸いに思います。</p>
鈴木会長	<p>今の事務局からの説明につきまして何か質問はありますか。</p>
木村委員	<p>公立保育所の整備につきましては、6年前に公立保育所は統合していき、最終的には線路を挟んで2ヶ所にする、と議会と市長で決定したことがあります。その統合される公立保育所の受け皿として認定こども園ができました。公立保育所の保護者から反対があり、深井保育所の閉所がすすまなかったようですが、この少</p>


鈴木会長	<p>子化の時代に建物だけがいっぱいできてしまいました。</p> <p>認定こども園についても、2ヶ所と言っていたのが実際には3ヶ所開園しました。</p> <p>その件に関しましては、ここで議論は避けさせていただき意見として預かりおかせていただきます。</p> <p>今の北本市の保育行政につきまして事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>〔北本市の保育行政について説明〕</p> <p>〔説明は省略〕</p>
鈴木会長	<p>現在の保育状況の説明につきまして質問等がありますか。ご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
佐藤委員	<p>資料の3ページにあります児童人口が減少傾向にあることはわかりますが、4ページの充足率につきましては73.1%と平成18年と比べて4分の1減ってきています。その関係性をどのように考慮して保育所整備をしてきたのですか。</p>
事務局	<p>北本市においても少子化の波を受け人口は減ってきております。児童数も減少中ではありますが、保護者の就労形態も変化してきており、児童が減少したから保育所の入所数に影響が出てくるというわけではありませんので整備を進めてまいりました。以前、認定こども園が整備される前は公立の4保育所と民間の2保育園では、入所希望の方をたくさん受け入れることはなかなか厳しい状況の中、100%に近い受入れや最大限の受入れをしてまいりました。この3年～4年で民間保育所の整備をして待機児童の軽減を図っております。北本市の人口規模でここまで認定こども園等を整備することができたのは、幼稚園の協力も大きかったと思います。北本の保育所は定員も広がり、保護者にとっては選択肢も広がってきました。しかし、現状で充足率が75%を切り、民間保育園の支援も考える中では、これから審議いただきますが今後の公立保育所の在り方が問われてくると考えています。</p>
鈴木会長	<p>佐藤委員の考えはいかがですか。</p>

佐藤委員	<p>子どもにとっては良いと思いますが、充足率の低さは保育園を経営する上では大変だと思います。100%の充足率でなくても職員は配置されているのですか。</p>
事務局	<p>公立保育所におきましては、4園全体で100名を超える職員が配置されていますが、その多くが非常勤職員です。正規職員につきましては調理員等を含み60名程度です。年齢別に応じた職員の配置をしておりますので足りない部分におきましては非常勤職員で補っている状況です。</p>
木村委員	<p>私の保育園では4月当初は60名定員で実際の入所がすくなくとも定員分の職員は雇っていますので経営は大変です。</p> <p>公立の栄保育所の場合、120名定員ですが4月は68名の入所です。前年度雇用していた職員はどうしたのですか。</p>
事務局	<p>職員数は少ないです。入所児童数に見合った職員を配置しています。</p>
木村委員	<p>初めから雇用しておかないと、児童が増えた場合に職員を集めるのが大変です。資料から見ると公立も民間も100名程度ずつ、合計で200名程度空いている状況ですよ。それは定員が多すぎるということだと思います。実際に入所率が少なくなっているのですからどのようにしたら一番適正なのか考えればわかりますよね。東京などでもそうですが、保育所の運営に関しては民間に委託しているところが増えています。さいたま市あたりの社会福祉法人では、東京でも運営している方が多くいます。公立保育所は、運営費がなくなり一般財源化となり補助はないですよ。そうなると市の財政は厳しいと思います。民間の保育園に関しては、まだ運営費をいただいていますので補助金でつなぐことができている状況です。しかし入所児童数が少なければ赤字になることには変わりないです。</p>
鈴木会長	<p>充足率がこれだけ減ってきているので定員を減らした方が良いとお考えですか。</p>
荒樋委員	<p>中央保育所の建替えについては、現在整備中の中核保育所の建替えから色々ありましたが、市からの説明では一番古い中央保育</p>

	<p>所を整備する必要があるが仮設園舎を近隣等で建設することが難しいと検討している最中に、現在中核保育所を整備している土地の持ち主が土地を手放すので、まず東保育所を建替え、空いた東保育所に中央保育所の児童がうつり平成25年開設に向けて整備すると説明を受けていました。先ほど、木村委員より話のあった議会と市長が決めたことについては保護者に対しては全く説明がありませんでした。そのような背景があるので中央保育所の建替えを希望します。</p>
木村委員	<p>縦のつながりと横のつながりがうまくできていなかったのでしょうかね。当時の部長から公立保育所を統合するにあたり受け皿を探していると聞いていました。それが認定こども園でした。</p>
鈴木会長	<p>以前の話ばかりになってしまうと今は議論が進まなくなってしまうので、今後のことをぜひお願いします。</p>
木村委員	<p>中央保育所が老朽化しているのはわかりますので、現在建設中の中核保育所に中央保育所の児童を入所させてはいかがですか。</p>
鈴木会長	<p>統合についての意見はありますか。</p>
阪井委員	<p>資料の中で児童人口の推移がありますが、家庭における幼児の選択肢として幼稚園、保育所、どちらにも行かない人もいます。幼稚園に行く人もいますが保育所に通う児童が増えていくと思います。そのような中で、幼稚園を絡めて就学前の児童の幼児教育の施設として保育所を考えた資料はありますか。</p>
事務局	<p>保健福祉部が保育所、教育部が幼稚園と担当部署が分かれてしまっているの、現在もちあわせている資料はありません。しかし本日、審議委員として幼稚園協会の会長においでいただいていますので在籍人数等の情報提供をいただけるとありがたいのですが、いかがでしょうか。</p>
関野委員	<p>正直、幼稚園も入園する児童は毎年減ってきています。実際に定員に満たない状況です。市内9園ある幼稚園のうち定員を満たしているのは2～3割だと思います。残りは、ぎりぎりか定員を割っている状況です。幼稚園サイドとすれば空き教室もあるので</p>

	<p>利用できればいいのかもしれませんが、0，1，2歳児を受け入れるには施設整備が必要で経費もかかります。幼稚園の状況も併せて考慮いただければと思います。</p>
阪井委員	<p>保育所の整備と裏併せに幼稚園の在り方があるということなのですね。決して、どちらかだけを考慮するのではなく、両方の立場を頭に入れて考えを出していきたいと思います。</p>
鈴木会長	<p>できれば、今現在の幼稚園のデータをこの会議で提示していただきたいのですが、いかがでしょうか。</p>
関野委員	<p>昨年度末頃に一度、市内の幼稚園の数字につきましては事務局に示したことがありますよね。</p>
事務局	<p>はい。その当時の在籍児童数を伺いました。今後、検討をする中で必要ということですので次回の審議会に資料を提供できるよう幼稚園側と検討いたします。</p>
鈴木会長	<p>ぜひ、委員の皆さんにも把握していただいていたきたいと思います。</p> <p>公募の委員さんは、お子さんが保育所を利用されていたか。それとも幼稚園を利用されていたか。どのような事から、そちらを利用したのですか。</p>
柳沢委員	<p>私の子どもは幼稚園を利用していました。まだ少子化の波がくる前で、割と幼稚園に通っている方が多かったです。北本市内は幼稚園の数も多く、教育方針等も独特というか個性的な園が多く教育熱心な印象を受けていました。</p>
議長	<p>今後の保育所の整備においてどのような希望がありますか。</p>
柳沢委員	<p>勉強不足ですが、国も財政が厳しい状況の中ですので無駄を省いて行って欲しいと思います。</p>
鈴木会長	<p>由井委員はいかがですか。</p>
由井委員	<p>私の子どもも幼稚園を卒園しました。現在は、広場事業を手伝</p>

	<p>わせていただいています。最近の若いお母さんは子どもを産んでからすぐに働きたいという方が多いようですね。幼稚園でも2歳児から預かってもらって働くパターンと保育所に預ける人がいるようですが、保育所だと年収などの基準が厳しくすぐに預けることが難しいですが、幼稚園はすぐに利用することができるからと選ばれる方もいるようです。</p>
鈴木委員	<p>私の子ども達は、2人共幼稚園を利用していたのですが、上の子の頃は子どもの人数が多い世代だったのですが、今は少なくなっていて役員の仕事が少ない、時間外の料金が安いなどの状況などを見聞きして、親は選ぶ傾向が出てきているようです。私の周りの人たちを見ていると地元出身の方が多く、小さい頃は祖父母に預かってもらい、大きくなると幼稚園に入園して延長を利用している人が多いです。</p>
鈴木会長	<p>また次回に、幼稚園の状況等も含め、的を絞った議論をしていきたいと思っております。</p>
諏訪副会長	<p>充足率が北本市は73%と聞きましたが、それならば、定員を増やす必要はないのではないのでしょうか。親側にすると、選択肢も広がっているということですね。</p>
佐藤委員	<p>児童相談所で、色々なケースを取り扱う中では保育所や幼稚園に入っていることは、とても良い事だと感じています。経済的に厳しい状況の中で両親共に働かないと稼げないという現実がありますし、子どもにとっても母子密着の期間が長いことは危険となります。なるべく早いうちに集団に参加するには北本市はとても良いと思います。</p> <p>資料の中で中央保育所と東保育所の0歳児の人数が0ということは全く預かっていないということですか。</p>
事務局	<p>はい。中央保育所と東保育所は0歳児保育を行っていません。</p>
佐藤委員	<p>200名以上の定員の空きがあるというならば、もっと0歳児の枠を増やしていくなど、保育所を活用するべきではないのですか。今はどんどんと児童の時代になってきています。このような点を整理すればインターネット等で保育所の空きの状況などを見</p>

	<p>て転居先を考える人もいると聞いていますので、北本市への転入も必ず増えてくると思います。</p>
鈴木会長	<p>現実的に、0歳児の枠を増やすことはコストがとても高くなりますので、大変難しい事だと思われま</p>
佐藤委員	<p>育児にコストがかかるのは当たり前です。母親だけが家で育児を行い四苦八苦している状況はおかしいです。</p>
阪井委員	<p>社会状況が変わってくる中で、子ども・子育て新システムが作られたのだろうが、今は本当に両親共に働かなければならない生活環境もあり、理想論はありますが、北本の幼児教育がどのようにあるべきかを答申したいと思います。家庭の状況におきましても共通認識として学ぶ機会があった方が良く</p>
鈴木会長	<p>では、次回の審議会におきましては、事務局に現在の幼稚園の状況と家庭での子育ての状況などの情報提供をお願いします。</p>
事務局	<p>第2回の審議会につきましては、諮問1の『公立保育所の整備について』のうち中央保育所の建替えについて引き続き検討していただきたいと思</p> <p>いますので、現状の様子をご覧ください機会も大事だと思いますので、現地視察を行ったあと審議をしていただきたいと考えております。</p> <p>日程につきましては、9月17日では、いかがでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>小学校の運動会が開催されるので出席が難しい人が多いです。</p>
事務局	<p>それでは、9月24日ではいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>第2回の幼児問題審議会は9月24日の午前</p> <p>に開催させていただきます。時間等に関しましては後日、詳細をご連絡させていただきます。</p>
<p>議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。</p>	
<p>平成 23 年 9 月 29 日 委員長(会長) </p>	